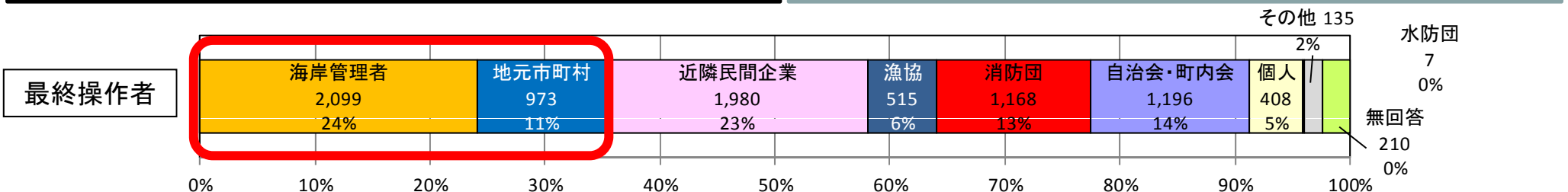
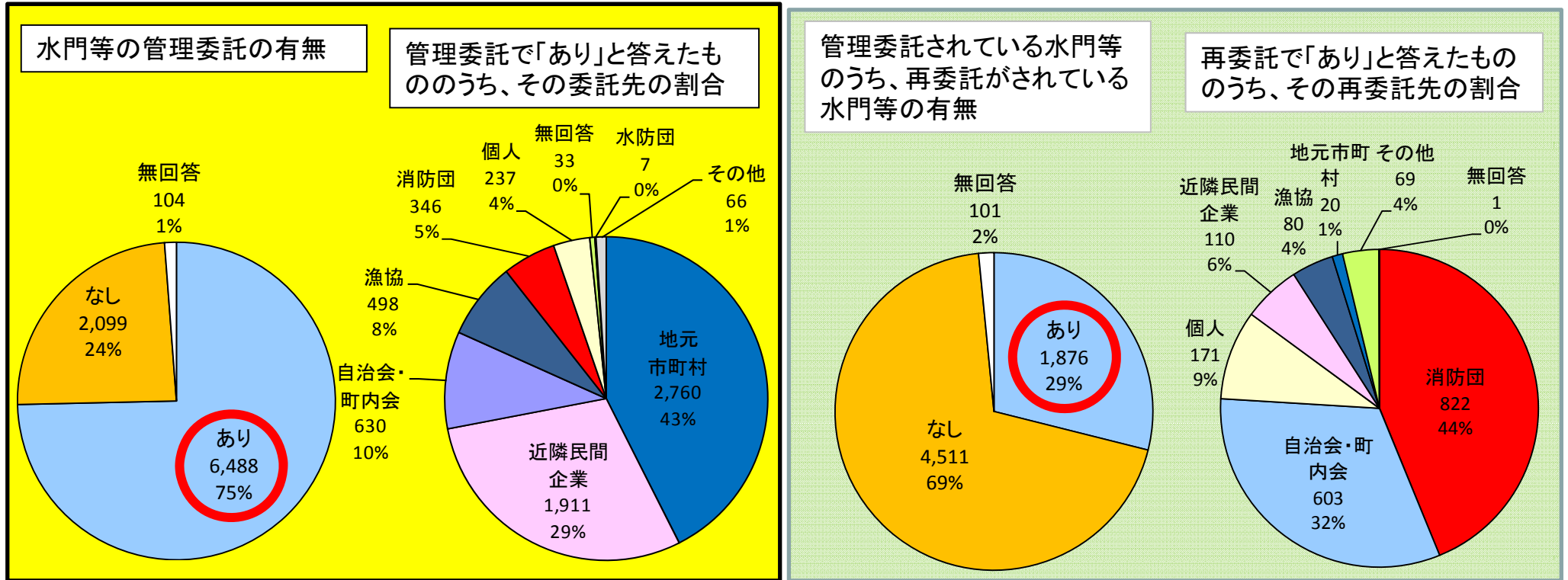


## 資料1 現行のガイドライン等に係るアンケート結果

# 現状の水門・陸閘等の管理体制

- 水門・陸閘等の管理形態をみると、その約8割が管理委託されている。
- 再委託されている水門等のうち、約4割は消防団、約3割は自治会・町内会に管理委託されている。
- 水門等の最終操作者のうち、海岸管理者または地元市町村が占める割合は約4割となっている。

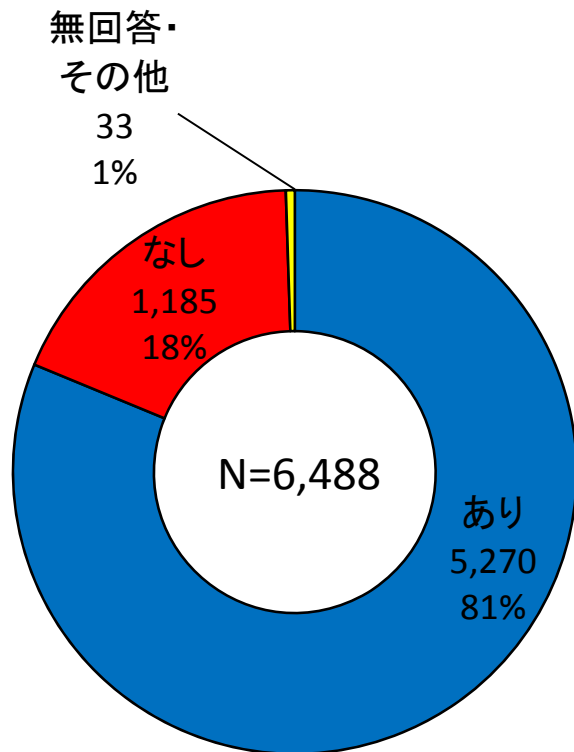


出典：農林水産省及び国土交通省調査(平成25年2月)  
 ※東北3県は調査対象外

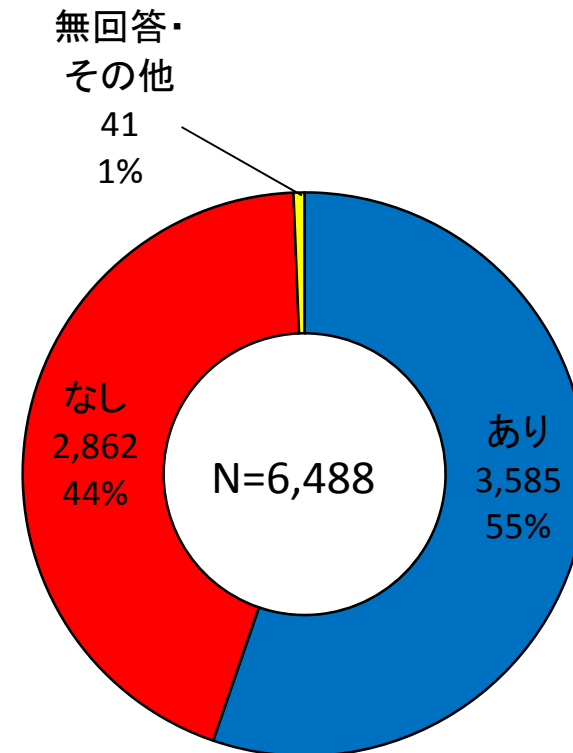
# 委託の現状

- 水門・陸閘等の管理委託について、委託契約書や協定書を取り交わさず、口頭による依頼をしているものが約2割ある。
- 管理委託されている水門等の約4割は、委託料が支払われていない。

委託契約書の有無



委託料の有無

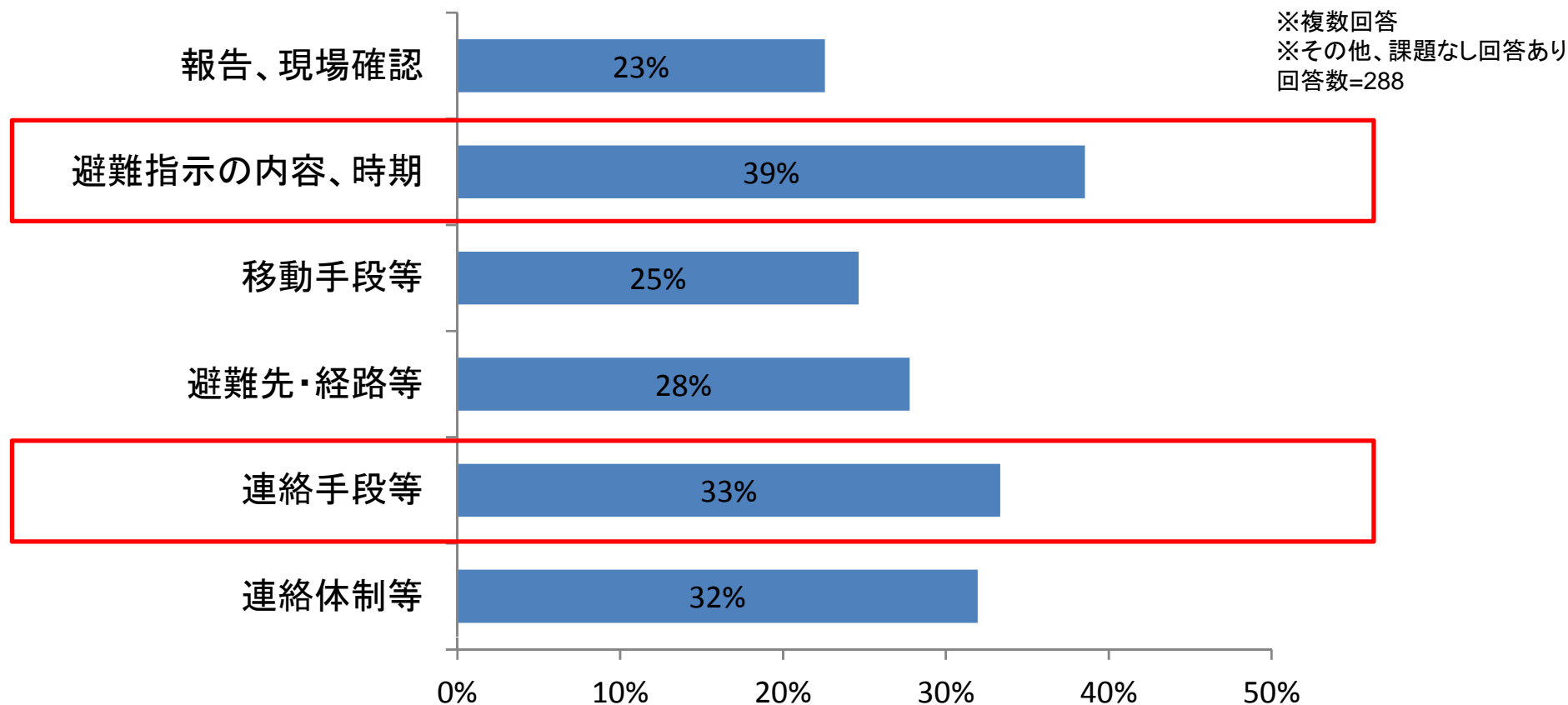


出典：農林水産省及び国土交通省調査（平成25年2月）  
※東北3県は調査対象外

# 現場操作員の安全性の確保に関する海岸管理者における課題について

○海岸管理者へのアンケートの結果、現場操作員の安全性確保に関する課題として、「避難指示の内容、時期」や「連絡手段」等が挙げられている。

## 現場操作員の安全性の確保に関する海岸管理者における課題について

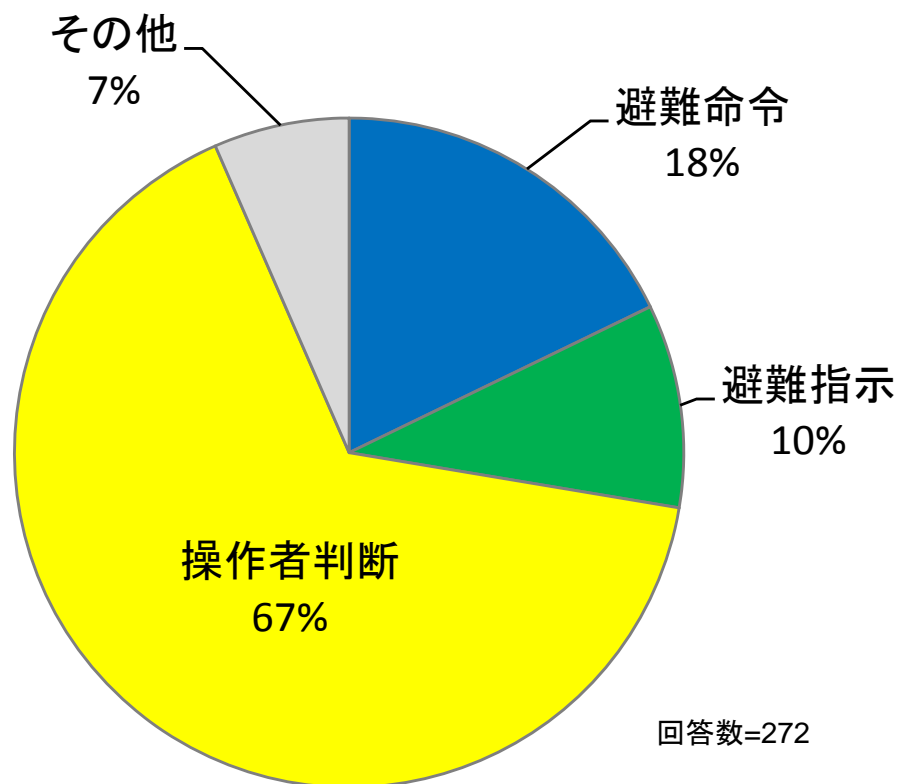


出典：農林水産省及び国土交通省調査(平成25年2月)  
※東北3県は調査対象外

# 現場操作員が危険な状態となった場合の対応

○手動の水門等の開閉操作で現場操作員が危険な状態となった場合の対応としては、操作者判断が約7割となっており、操作者の判断に任せている管理者が大半である。

現場操作員が危険な状態となった場合の対応

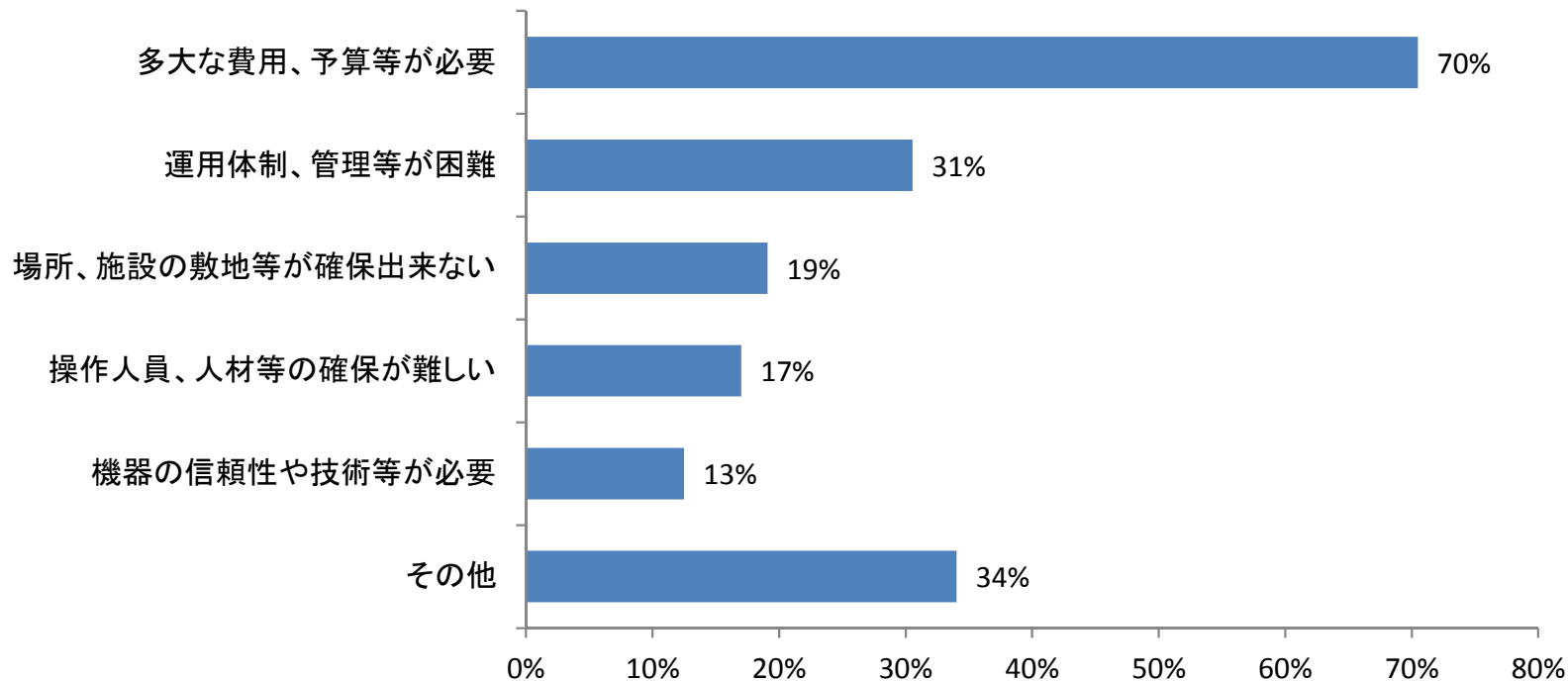


出典：農林水産省及び国土交通省調査（平成25年2月）  
※東北3県は調査対象外

# 水門・陸閘等の自動化・遠隔操作化等に係る課題

○海岸管理者に対するアンケートの結果、自動化・遠隔操作化に関する課題として「多大な費用・予算等が必要」との回答が約7割、「運用体制、管理等が困難」との回答が約3割であった。

## 【水門等の自動化・遠隔操作化に関する海岸管理者における課題について】



※複数回答

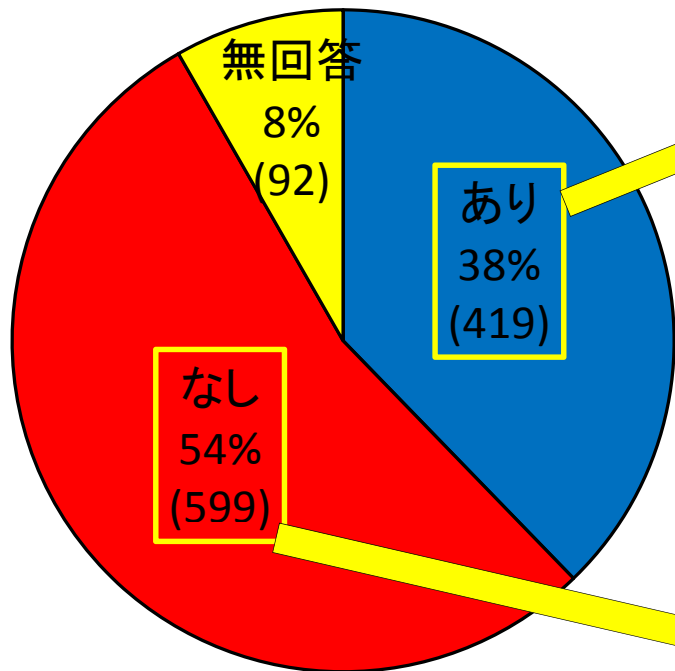
※回答した管理者数:288

※その他の例:自動化・遠隔操作化の予定がない、必要性を感じていない等

# 電源喪失対策の現況

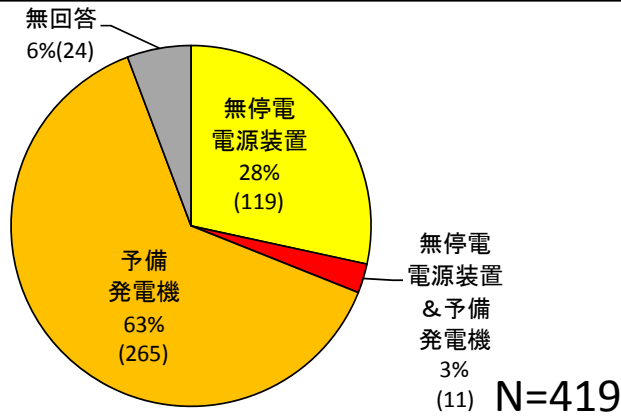
- 水門・陸閘等のうち、約5割は電源を消失した場合のバックアップを有しておらず、手動での対応や、発電設備を搭載した車両が現場へ急行することが必要となる。
- バックアップ電源のない施設のうち、対策を検討中のものは16%。

開閉施設の停電時における  
バックアップの有無



N=1,110

開閉施設の停電時における  
バックアップがある場合の種類

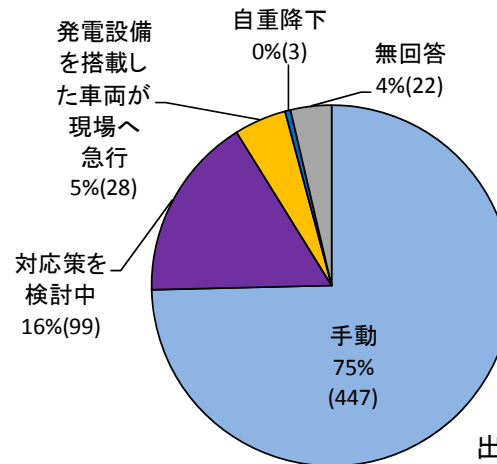


N=419



■ 予備発電機設置の事例  
水門の電動化・遠隔化に加え、バックアップ動力として予備発電機を設置している  
(和歌山県 水門)

開閉施設の停電時における  
バックアップ電源がない場合の対応



N=599



■ 無停電電源装置  
電源が切断された場合も、一定時間、接続されている機器に対して、停電することなく電力を供給し続ける電源装置

出典：農林水産省及び国土交通省調査(平成25年2月)  
※東北3県は調査対象外